

Christ unser Herr zum Jordan kam: BWV 7 小林 英夫 訳

1. Coro

第1曲 合唱

Christ unser Herr zum Jordan kam
nach seines Vaters Willen,
von Sankt Johannis die Taufe nahm,
sein Werk und Amt zu erfüllen;
da wollt' er stiften uns ein Bad,
zu waschen uns von Sünden,
ersäufen auch den bitteren Tod
durch sein selbst Blut und Wunden,
es galt ein neues Leben.

私たちの主キリストは、ヨルダン川に来た、
それは父なる神の御旨に従って、
聖ヨハネから洗礼を受け、
そのわざと使命とを全うするためであった。
それによって、私たちは洗礼の水を注がれて、
罪から洗い清められるだけでなく、
つらい死の定めを水に沈めて無効とし、
主御自身の血と傷を通して、
新しい命を生きるものとされた。

2. Aria (Basso)

第2曲 アリア(バス)

Merkt und hört, ihr Menschenkinder,
was Gott selbst die Taufe heißt.

心して聞きなさい、人として生まれた者たちよ、
神が洗礼をどのように定められたのかを。

Es muß zwar hier Wasser sein,
doch schlecht Wasser nicht allein.
Gottes Wort und Gottes Geist
tauft und reiniget die Sünder.

もちろんここには水が必要だが、
ただ普通の水さえあればよいのではない。
神の言葉と神の霊とが、
罪びとに洗礼を受け、清めて下さるのだから。

Merkt und hört, . . .

心して聞きなさい、. . .

3. Recitativo (Tenore)

第3曲 レチタティーヴォ(テノール)

Dies hat Gott klar
mit Worten und mit Bildern dargetan,
am Jordan ließ der Vater offenbar
die Stimme bei der Taufe Christi hören;
er sprach:
dies ist mein lieber Sohn,
an diesem hab ich Wohlgefallen,
er ist vom hohen Himmelsthron
der Welt zu gut
in niedriger Gestalt gekommen
und hat das Fleisch und Blut
der Menschenkinder angenommen;
den nehmet nun als euren Heiland an
und höret seine teuren Lehren!

このことを神ははっきりと
言葉と形で明らかにして下さった。
ヨルダン川のほとりで御父は御自身を啓示して、
キリストの洗礼に際して声を聞かせた。
神は言われた、
これは私の愛する息子、
私の喜びとする者である。
彼はいと高き天の玉座を離れ、
世のために良かれと、
へりくだった姿で現れ、
肉と血を受けて
人間として生まれて来たのだ。
あなたたちは救い主として彼を受け入れ、
その尊い教えに聞き従いなさい。

4. Aria (Tenore)

Des Vaters Stimme ließ sich hören;
der Sohn, der uns mit Blut erkaufte,
ward als ein wahrer Mensch getauft.

Der Geist erschien im Bild der Tauben,
damit wir ohne Zweifel glauben,
es habe die Dreifaltigkeit
uns selbst die Taufe zubereit'.

5. Recitativo (Basso)

Als Jesus dort nach seinem Leiden
und nach dem Auferstehn
aus dieser Welt zum Vater wollte gehn,
sprach er zu seinen Jüngern:

Geht hin in alle Welt
und lehret alle Heiden,
wer glaubet und getauft wird auf Erden,
der soll gerecht und selig werden.

6. Aria (Alto)

Menschen, glaubt doch dieser Gnade,
daß ihr nicht in Sünden sterbt,
noch im Höllenpfuhl verderbt.
Menschenwerk und heiligkeit
gilt vor Gott zu keiner Zeit.
Sünden sind uns angeboren,
wir sind von Natur verloren;
Glaub und Taufe macht sie rein,
daß sie nicht verdammlich sein.

7. Choral

Das Aug allein das Wasser sieht,
wie Menschen Wasser gießen,
Der Glaub allein die Kraft versteht
des Blutes Jesu Christi,
und ist für ihn ein rote Flut
von Christi Blut gefärbet,
die allen Schaden heilet gut
von Adam her geerbet,
auch von uns selbst begangen.

第4曲 アリア(テノール)

父なる神はその声を聞かせ、
子なる神、やがて私たちをその血で買い戻す方は、
まことの人として洗礼を受けられた。

さらに聖霊が鳩の姿で現れたことによって、
私たちは疑いなく信じることができる。
三位一体の神が
私たちの受ける洗礼を整えて下さったのだと。

第5曲 レチタティーヴォ(バス)

イエスがその受難ののち、
復活を成し遂げ、
この世から御父のもとに行こうとした時、
弟子たちにこのように言い残された。

全世界へ行って、
すべての民を教えなさい。
この世で信じて洗礼を受ける者は、
正しき者とされ、幸福を受ける。

第6曲 アリア(アルト)

人々よ、ぜひともこの恵みを信じなさい、
あなたたちは罪の内に死ぬのではなく、
地獄の底で朽ちてしまうのでもありません。
人間の行ないや名誉は
神の前では何の価値もありません。
罪は私たちに生まれつきのものであり、
私たちは本来なら滅びるべきものなのです。
けれど、信仰と洗礼の恵みは私たちの罪を清め、
もはや罰せられることのないものとするのです。

第7曲 コラール(合唱)

目だけで洗礼の水を見るなら、
人が水を注いでいるに過ぎない。
信仰だけがそこに恵みの力を理解する、
イエス・キリストの血の力を。
一筋の赤い流れ、
キリストの血によって染められた水の流れが、
すべての過ちをすっかり癒して、
アダムから受け継いだ罪も
私たち自身が犯した罪も清めて下さる。

使用楽譜: Breitkopf J.S.B.I.7 (ヴォーカル・スコア。ドイツ語のほか、英語歌詞付き)。

アルフレート・デュルの著書に記載されたカンタータ歌詞との間に、大文字使用、句読点レベルを除き、第3曲 zu gut/zugut、第7曲 für ihn/für ihm の相違がある。

日本語表題: 《われらの主キリスト、ヨルダンの川に来たり》(杉山系)、【われらの主キリスト、ヨルダン河に来たれり】(角倉系)。

洗礼者ヨハネの祝日 (Fest Johannes des Täufers)。初演 1724 年 6 月 24 日、ライプツィヒ。39 歳。台本作者(詩人)名不詳。

聖書朗読箇所: ルカ福音書 1 章 57-80 節。副次的朗読箇所: イザヤ書 40 章 1-5 節。

コーラルカンタータ: "Christ unser Herr zum Jordan kam" Martin Luther 1541 第1曲 1/7、第7曲 7/7;
(Melodie: 15 Jahrh. / Johann Walter 1524) EKG146。